

## 1 水道事業者共通の課題

老朽化する施設の更新、専門人材の確保・育成、頻発する大規模災害に強い体制づくり等

## 2 目指す姿

「安全・安心・安定」な水道事業を、効率的・効果的・持続的に運営していくための「**持続可能な経営体制**」の確立

## 3 企業局の取組の方向性

### ① 企業局と関係市町村による広域化等に向けた取組の横展開

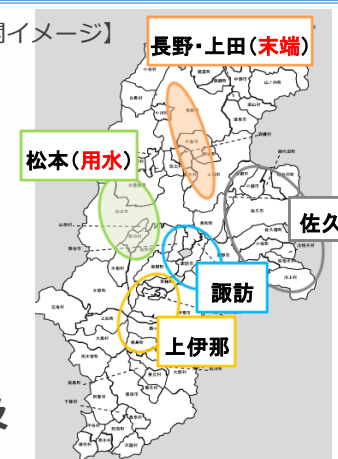
(広域的な水運用の一体化により、施設の最適化を行う体制づくりを他の地域に波及)

### ② 県内水道事業者への支援等を行う広域連携の体制づくり (全県への展開)

(全国で唯一、都道府県レベルで末端給水と用水供給の両事業を運営してきた強みを活かし、人口減少やDXの推進などの課題に直面する県内水道事業者を技術的に支援等)

※上記①、②を並行して実施することによる相乗効果 ⇒ 広域化・広域連携を全県に波及

【横展開イメージ】



## 4 今後の取組

### ○現在の取組【環境部、企画振興部と企業局が連携】

#### ・情報共有・意見交換

長野県水道事業広域連携推進協議会の開催、ワーキンググループ (WG) による県内水道事業者共通の施設台帳「長野モデル」の整備、専門人材の確保・育成等にかかる議論

#### ・県内水道事業者を対象とした相談支援 (なんでも相談窓口、お出かけ相談)

#### ・技術的支援 (水道事業実務研修会の開催、災害時における技術職員の派遣) 等



連携・協力

【全県への波及イメージ】



### ○今後、長野県水道事業広域連携推進協議会において検討を進め、早期に具体化

#### ・県と市町村が協働で、広域連携等により持続可能な経営体制を構築するための仕組みを検討し、具体化を図る